

## 国際移民運動

私たちは様々な名前と呼ばれてます：不法者、よそ者、一時的労働者、国境侵犯者、望まれてない人たち、流浪者、犯罪者、市民権を持たない者、テロリスト、泥棒、外国人、侵入者、不法滞在者...

私たちの声は以下の声明文に集約されます。

1. 多国間の関連性という現実、私たち移民が生産活動に貢献している事実そのもので、そこに私たちの存在意義があると理解しています。一つの国の国民生活の質は移民の労働と大いに関連があります。私たちは（経済活動の）交換の一部として機能しています。
2. 私たちは皆、多くの国と関連しています。この移民が多国間と関連する現象は、一国のみで解決することは不可能です。もしそうしてしまうと移民は（壊れてしまいそうな）危うい現実と直面してしてしまいます。
3. 私達には移動の自由と移動を強制されない自由があります。多国籍企業や国際エリート達が持っている移動と滞在の特権と同じものを私たちは要求します。私達は発展の可能性と機会を得るに相応しい存在です。私たちは皆、より良い生活を求める権利を持っています。
4. 私達を先入観なしに扱い、世界中の皆一人ひとりを等しく平等に庇護することが私たちの尊厳に相応しい唯一の解決策だと信じます。移民の生活を犯罪とみなすことに断固反対します。
5. 移民ということがある特定の社会階級に属するということを意味しない、そしてある特定の法的環境に属することを意味しないことをここに確認します。移民は探検であり、ムーブメントを意味します、皆で分かち合う状況なのです。団結が私たちの財産です。
6. 個々人の権利を奪わないことが文明の真実のバロメータであると認識しています。奴隷解放、市民権のムーブメント、女性の権利の進展、**LGBTQ**における最近の達成、これらに勝利してきたことが私たちのアイデンティティだと考えます。移民の権利獲得を人類の尊厳の達成における次なる勝利とすることが私たちの責任であり、人類史的義務なのです。今日の移民に対する悪意のある扱いが将来的に不名誉なこととなるのは明白です。
7. 移民の肉体的労働の価値は知的能力の価値と同等であることを確認します。移民がもたらす文化、社会、技術、政治的価値の認識が早急に必要です。
8. 国境を管轄する仕事は人類に対する役職だと再認識する必要があると考えます。
9. 全ての人間がアクセスでき利用できる共有財産としてのスペースの概念を回復する必要があると考えます。
10. 恐怖が境界線を作り、境界線が嫌悪を作り、そして嫌悪が圧制者に利用される様を目の当たりにしています。移民も非移民も繋がっている、相互に関連しているはずですが、移民の権利を侵害することは市民の権利をも危険に晒すことにつながります。

人類の尊厳に国境はないのです。